

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を主員の正社員化を。

ゆめを、均等待遇、なげうち差別！ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！

社員の命・健康より、メンツを考える 長中局の姿勢に抗議する！

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4051
20年4月28日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

おはようございます。
三菱重工長崎造船香焼工場に停泊中のクルーズ船の集団感染。乗組員623人全員のPCR検査を終え、陽性の感染者は計148人となった。
4月25日に、南部地域の自治会役員向けに開催した説明会で三菱は、「クルーズ船の乗組員の行動歴を早く市民に伝えたい」と言っているが、すでに地区のコンビニや商業施設は、風評被害を受け客足が止まったという話も聞く。
「乗下船はなかった」と公の場では発言したにもかかわらず、翌日には「乗下船はあった」と、前日の発言を撤回した三菱の対応の悪さが住民の不安を煽る形となった。また、市民が不安に思っているのは「造船所で働く人に濃厚接触者はいるか？」だが、この件に

関しては何の報道もされていない。普通は修理のために停泊しているのだから接触はあると考えられるのだが、三菱はこの問題に真摯に対応する責任がある。



長崎でも市中感染の恐れが高まるが、長中局の対応には理解できないことがある。

先週15日に支部は「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急要求書」を提出した。未だ4049号で掲載した11項目には、
1 マスク、ゴム手袋、手洗い消毒液（アルコールなど）を常備すること
2 窓口に飛沫感染防止のためのビニールカーテン（シート）を設置すること
等があり、また文中では「保健所などへの連絡や検査を受ける手段などを職場に大きく明記し、不安解消にも努めてほしい」と要望を書いた。

これに出来るように二日後の17日には、集配営業部の朝の全体ミーティングで、局長からマスクの在庫状況など、長崎中央局における新型コロナウイルス感染防止対策の現状が説明された。また窓口にはビニールシートが設置されたほか、通口やエレベータ内、休憩コーナーなど各所に保健所の連絡番号が張り出されるなど、ユニオンの要請に沿った感染予防対策が取られ、局の対応を評価するところだ。

しかしこの後がいけない。私たちユニオンが今後も未曾有の災害に際し協力したい、回答できる項目だけでも回答し共に対策を取ろうと言ったにもかかわらず、長中局の回答は、4月23日「検討中」4月24日「本日の回答はできません」だ。前述のように、すでに職場で実施しているものなどは、実施（設置）したと回答すれば済むもの。にもかかわらず回答しない理由がわからない。少数組合に言われ、感染予防対策を取ったと言いたくないのかもしれないが、今はそんな場合ではない

ないだろう。メンツより、社員の命・健康を考え行動してもらいたいものだ！



3密、ステイホームが叫ばれる中、我々の仕事（郵便、物流）はストップすることはできない。集配や窓口で勤務する社員は特に感染のリスクは高くなっている。

福島県の二本松郵便局のクラスターは皆さんの労務管理が要因と報道され、東北支社長が謝罪会見を行っている。しかし、この様な事があっても未だにビニールシートを設置していない郵便局もあるように、危機感が薄い局長が存在するのも事実だ。



先週の金曜日、南部のある旧特定局では、飛散

感染防止のビニールシートが設置されていない事を局長に聞いている利用者がいた。局長は「来週の月曜日には設置します」と答えていた。
シート設置は所属長が必要と判断した場合とされているが、所属長の危機管理意識が図られることになる。

さてクルーズ船の集団感染では、三菱の対応の悪さに批判が集中した。感染者がでるのは仕方がないことだが、そのあとの対応が重要になってくる。

これは郵政の職場でも同じだ。支部は今後も継続して要求書の早期回答を求めていく。

メーデーについて

5月1日（金）はメーデーですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して、県労連メーデーは中止となりました。地区労メーデーは、各組合代表参加で短時間での集会のみとなりました。また開催場所も地区労働館に変更されています。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。